



実現しちゃった 感激!!

左から岩見沢緑陵高校3年の木村さん、小岩さん、大江さん、長瀬さん、津坂さん

いわみざわ公園に、もっとたくさんの方が来て、みんなが楽しめたらどんなにいいだろう。そして、夏だけでなく冬も楽しめたら…

そんな、考えを持つ岩見沢緑陵高校の5人が、自分たちの手で、何かできないかと、4月からあれやこれやと話し合いました。

そして、みんなで決めたのが、冬の色彩館をイルミネーションで飾ってみようということになったのです。

これは、先輩たちが実現できずに残っていたアイデアを参考に、5人が、より発展させ実現できるように考えたものでもありました。

私たちに何が できるだろう



生徒の手づくりポスター

12月17日(日)から23日(祝)まで、生徒たちが、室内公園色彩館で行ったイベントの奮闘記録



何を どうすれば

この計画ができたとき、本当にできるのか、何から始めたらいいのか、色彩館を使っていいんだろっか、とつても不安になりました。

そこで思い切って、市長に直接話してみることにしました。

そして、10月に行われた市長室開放で、市長に会うことができ、すごく緊張したけど、自分たちの夢や計画を無我夢中で話しました。

市長は、それはおもしろいね、力を貸すよ、と言ってってくれて、その上、いろいろとアドバイスまでもらうことができ、とてもうれしくなっちゃいました。

一口コメント

木村 本当に軽い気持ちでお話したのに、まさか自分たちのアイデアが実現できることになるなんて。

早速、行動に移すことにしました。施設の方やいろいろな関係の方と、たくさん打ち合わせをしながら



打ち合わせ
下見は急入りに

あれもこれも...

考えることが

いっぱい!



ら、自分たちは、ポスターのデザインやイベントの内容も考えるなど、夢が現実のものとなる時が、一歩ずつ近づいていきました。

あきらめずに

ところが、イルミネーションの会場となる色彩館で、電球を飾る場所やイベントの実施方法などの打ち合わせを行ったところ、予想もしていなかったことが次々と出てきて、考えていたのと、実際にやるのでは大違い。

話がなかなか進まなくなっていました。

それでも、あきらめずに粘り強く考え、アイデアを出し合い、また、アドバイスももらいながら、一つひとつ問題を解決し、突き進みました。

一口コメント

津坂 思っていたよりも大がかりなことになって、ちょっと心配したけど、みんなで力を合わせれば何とかかなるんだなあ。

一口コメント

小岩 これまで頭の中で考えてきたことが、とうとう実現するんだ、と思うと、なんだかワクワクしちゃった。
大江 夢ってかなうものなんですね。一生懸命頑張るので、できるだけたくさんの人に目に来てほしいな。

近づく点灯の日



会場も確認し、飾りつけのイメージもおおよそできてきたけど、ポスターとチラシの印刷や、イベントに使う物の手配、許可をもらう書類づくりなど、夢が形になるにつれて、作業量もどんどん増え、大変なことに。中でも、特に苦労したのはポス



いよいよ飾りつけ！
ワクワク
ドキドキ



ターとチラシ。学校で作業のできる時間が限られているし、何回も繰り返し修正していくうちに、突然データが消えてしまつて、作業が振り出しに戻るなど、予定よりも大幅に作業が遅れ、印刷が終わつたのは、イルミネーション点灯日の3日前。

いざPR



完成が大幅に遅れて、ようやく出来あがつたポスターとチラシ。はじめは、みんな得手分けしているいろんな施設に持って回る予定だったのを変更し、市内の幼稚園や保育所などには郵送することになりました。
でも、大きな施設は、どうしても自分たちで届けたかったので、直接お願いに回りました。

一口コメント

長瀬 最初は協力してもらえないかどうかわからないのでドキドキしたけれど、皆さん理解してくれて、快く引き受けてもらったので良かった。



緊張の試験点灯

いよいよ電球の飾りつけ。

メインとなるのは、色彩館に入っ
て最初に目に飛び込んでくる、ゴー
ルドクレス上(ヒノキ科)という高さ
7mの木で、この飾りは、上から放
射状に電球を垂らしました。

ところが、飾ってみると何だか寂
しい。そこで、急ぎよ電球の数を倍に
増やしてみたところ、これが最高！

このほか、ツルばらが張ったアー
チや園路、観葉植物にも電飾を付け
るなど、1日がかりの作業でした。
夕方になり、待ちに待った試験点灯。
イルミネーションに灯がともる
と、みんなの興奮は最高潮に。

一口
ツメクサ

木村 こんなにきれいに飾り
付けが出来てうれしい。こ
の調子でイベントも成功さ
せたい！

津坂 想像していたよりも
ずっときれいでうれしい。
電球の色が緑に映えて感動
しました。

小岩 自分の中のイメージよ
りもすごくきれいにできま
した。完成までに、たくさん



の人に手伝ってもらってあ
りがとう。

長瀬 思っていたよりもきれ
いで、自分でもビックリして
ます。大変だったけど、やっ
て良かった。

大江 飾り付け作業にもっと苦
労するかと思っていたけど、
意外とスムーズにいきました。
みなさんのおかげです。

この広報が皆さんのもとに届くと
きは、イベントが終わっていて、
残念ながら生徒たちが飾ったイルミ
ネーションを見てもらうことができ
ません。

しかし、生徒たちは、多くの苦勞
を乗り越え、一生懸命取り組んだこ
のイベントの成功が、きっと大きな
自信になったことでしょう。

生徒たちの、本当に小さな夢から
始まったこの取り組み。みんながア
イデアを出し合い、力を合わせ、動
き出せばこんなに素晴らしいことが
できるのです。

岩見沢をもっと素敵なまち、魅力
あるまちにするため、市民みんな
で考え、そしてその実現に向け、力を
合わせませんか。

そんな皆さんの夢や行動が、私た
ちのまちをより一層、住み良いまち
にしていくことでしょう。